

平成 28 年度 第 4 回（公社）大気環境学会常任理事会 議事要旨

日時 平成 29 年 3 月 29 日（水）14 時～17 時

場所 電力中央研究所（大手町）7 階 710B 会議室

出席 大原利眞会長、近藤明副会長、畠山史郎副会長、伊豆田猛、大泉毅、内藤季和、中井里史、速水洋、松田和秀各常任理事

議題

1. 会長報告

大原会長から、次の 4 件について報告があった。

- ① 事務局機能移転について、1 月 30 日、3 月 9 日に、中井理事、事務局長と打合せを行った（3 月 9 日には、国際文献社も同席した。）。本日の議題にあるが、5 月の理事会に方針を諮り、学会誌 4 号にメッセージを掲載したい。その上で、9 月の総会に諮りたい。
- ② 2 月 1 日に環境省の関連団体懇談会に出席し、参加者と交流した。3 月 14 日の内閣府立入検査に対応した。これについては、後ほど報告がある。
- ③ 大気環境事典の出版は、おおむね順調に進んでおり、執筆者の依頼を開始した。
- ④ 福島原発事故等の関連で、日本原子力学会の会誌「アトモス」に本学会の取組みについて執筆するとともに、「福島復興・廃炉推進に貢献する学協会連絡会」への参加が承認された。

2 事務局移転の取り組み及び電子ジャーナル化について

中井財務担当理事から、(1) 学会誌の電子ジャーナル化、(2) 事務局機能移転について、国際文献社からの見積りを元に、財政的なメリットの可能性について報告があった。また、速水編集委員会担当理事から、編集委員会での電子ジャーナル化のスケジュールを含めた検討状況の報告があった。

電子ジャーナル化及び会員の個人情報の管理や学会の運営に関する事務局業務のあり方等を含めて、中井理事を座長とする WG を設置して詳細な検討を進めることとした。

3 60 周年記念事業について

伊豆田担当理事から、60 周年記念事業の現状について説明があり、①募金、②国際シンポジウム、③産官学民連携セミナー、④学会誌 60 周年記念ページの作成、⑤大気環境の事典、⑥その他（出前講座）、⑦記念事業委員会等について報告があった。

近藤副会長から、募金について、「大気環境未来 60」基金として寄附金を募集する趣意書について説明があり、目的、目標額、一口単価等について若干の修正を加えることとした。また、

推進体制を明確にするため、基金実行委員会を設置し、推進体制の確立、スケジュール化を進めていくこととした。

日中韓国際シンポジウムについては、松田理事から報告があり、韓国及び中国から最大4名を招待することで調整しており、年会の初日午後にシンポを開催し、併せて日中韓の打合せをすることで年会事務局と調整を行っていくこととした。その他の取組みについては、引き続き検討を進めることとした。

4 内閣府の立入検査結果について

平成29年3月14日に内閣府による認定法第27条に基づく立入検査が実施された。当学会からの提示資料は、定款等の規程類、内規類、事務局関係規定等、役員を選任等に関する書類等であった。大原会長、中井理事が同席し、監査終了後、口頭で講評及び指摘があった。

4.1. 主な指摘事項等

(1) 理事会等の開催について

- ① 業務執行理事（会長、副会長、常任理事）は、年2回以上、職務の執行状況を理事会に報告する義務がある（定款第22条第5項）ため、理事会は年2回以上開催すること。
- ② 総会の開催日時、議題、委任状等については、理事会での決議が必要である。

(2) 規程類の整備について

以下の規程類を改定あるいは制定が必要である。

- ① 受取会費等の用途に関する規程（受取会費の5割以上を公益目的事業に使用すること。）
- ② 印章取扱規程の整備（学会公印の取扱規程）
- ③ 謝金規程の整備（外部受託の場合の規程はあるが、内部での規程がない。）

4.2. 指摘事項等に対する対応

内閣府の講評及び指摘に対応し、以下の様に対応することとした。

(1) 理事会の開催について

理事が実際に議論できる理事会を開催することが必要であるので、スカイプやテレビ会議等を含めて検討し、年2回以上の理事会を開催する。今年度は、5月と9月に理事会を開催することとする。

(2) 規程類の整備について

事務局より示された上記3件の規程類（案）について検討し、若干修正した上、次回理事会において提案することとした。

5 各委員会報告

5.1 国際交流委員会

上記の日中韓国際シンポジウムの準備状況の他、AJAE 編集活動の報告があり、了承された。また、日韓以外のエディターを International Editorial Board メンバーとして JSAE から推薦することとした。

5.2 編集委員会

上記の電子ジャーナル化の検討状況の報告の他、入門講座等のダウンロード販売を 3 月 31 日から開始すること他の報告があり、了承された。

5.3 論文賞選考委員会

昨年度、大気環境学会誌と AJAE に投稿された研究論文を対象に、選考を開始することが報告され、了承された。

5.4 企画運営委員会・産官学民連絡協議会

近畿支部が主催し、国交省などが後援する船舶排出規制をテーマとするシンポジウム（7 月 15 日、大阪）を企画運営委員会・産官学民連絡協議会が共催することとした。

6. 次回の理事会日程について

平成 28 年度第 4 回理事会を、平成 29 年 5 月 30 日（火）12 時～15 時に開催することとした。

（以上）

資料（リストのみ掲載）

- ① 平成 28 年度 第 3 回（公社）大気環境学会常任理事会 議事要旨
- ② 電子ジャーナル化・事務局移転に関して
 1. （公社）大気環境学会 電子ジャーナル化・事務局移転に関して
 2. （公社）大気環境学会事務局 業務内容
 3. （参考） 国際文献社 Web ページ
- ③ 大気環境学会 60 周年記念事業の現状報告
- ④ 公益社団法人大気環境学会設立 60 周年「大気環境未来 60」基金への寄付のお願い
- ⑤ 内閣府立入検査結果について
 1. 内閣府立入検査結果について
 2. 受取会費等の使途に関する規程（案）
 3. 印章取扱規程（案）
 4. 謝金規程（案）
- ⑥ 国際交流委員会報告
- ⑦ 編集委員会報告
- ⑧ 論文賞選考委員会報告

1. 論文賞選考委員会報告

2. 対象論文リスト

- ⑨ 北海道環境影響評価審議会委員の推薦について（報告事項）
- ⑩ 大気環境学会ポスター（2017年版）（報告事項）
- ⑪ 環境改善調査研究事後評価について（ERCA 受託研究）

